

インターネットによる講義配信及び 免許法認定通信教育の紹介

研修事業部

総括研究員

主任研究員

主任研究員

齊藤由美子

若林 上総

小澤 至賢

研修事業

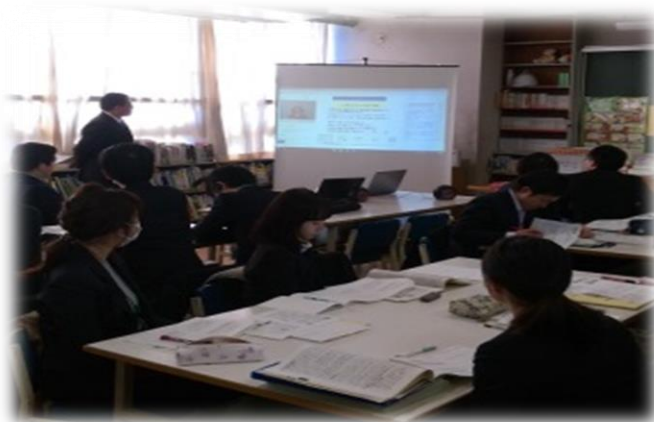
目的及び研修体系

(1) 特別支援教育政策等の推進に寄与する指導者の養成

- 特別支援教育専門研修（約2か月間）
指導者研究協議会（1～2日間）

(2) 幅広い教員の資質向上に関する支援

- インターネットによる講義配信
免許法認定通信教育



(2) 幅広い教員の資質向上に関する支援

- ① インターネットによる講義配信
- ② 免許法認定通信教育

①インターネットによる講義配信

障害のある児童生徒等の教育に携わる教員の資質向上を図る取組を支援するため、「特別支援教育研修講座コンテンツ」をインターネットにより配信しています。平成30年度は、幼稚園及び高等学校向けのコンテンツを拡充しました。

(31年1月17日現在 登録者数 3,734人)

基礎編45タイトル

(講義タイトル例)

- ・共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築
- ・個別の指導計画の作成と活用

専門編76タイトル

(講義タイトル例)

- ・幼児期における特別支援教育の考え方
- ・高等学校における校内支援体制づくり
- ・発達障害のある子どもの通級による指導



個人登録をすれば、
どなたでも配信講義
を視聴いただけます。

無料

講義配信ウェブサイト

http://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online

お問い合わせ v-tsushin@nise.go.jp

実際の講義配信画面

The screenshot shows a web browser window displaying a lecture streaming interface. On the left, there is a video player showing a female lecturer. Below the video is a '字幕' (Subtitle) button and a 'ダウンロード' (Download) button. The main content area displays the title '「重複障害のある子どもとのコミュニケーションを支える環境づくり」' (Creating an environment to support communication with children with repetitive disabilities) and the presenter '独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 齊藤 由美子' (National Institute of Special Education, Yumiko Saito). Below the title, there is a row of thumbnail images representing different slides. On the right side, there is a subtitle track with Japanese text. A green speech bubble points to the subtitle track, and another green speech bubble points to the slide thumbnails.

講師の話は字幕表示されます

資料スライドも同時に表示

研修プログラムの提案

- インクルーシブ教育システムについて学ぶ
- 特別支援教育コーディネーターになったら
- 特別支援学級(知的)の担任になったら
- 特別支援学級(自・情)の担任になったら
- 特別支援学校の教員になったら
- 小・中学校の管理職になったら
- 高等学校の特別支援教育を進めるために
- 幼児期の特別支援教育を進めるために
- すべての教職員を対象に: 本人・保護者に寄り添った指導・支援のために

講義配信の活用

教育委員会・
研修センター

研修・
理解啓発

指導助言

リーフレット等
作成の参考

幼・小・中・高・
特別支援学校
等

校内研修

個人研修

その他
(大学等)

指導・研究

教材活用

新規コンテンツについて

「通常の学級における各教科等の学びの困難さに応じた指導」に関するプログラム

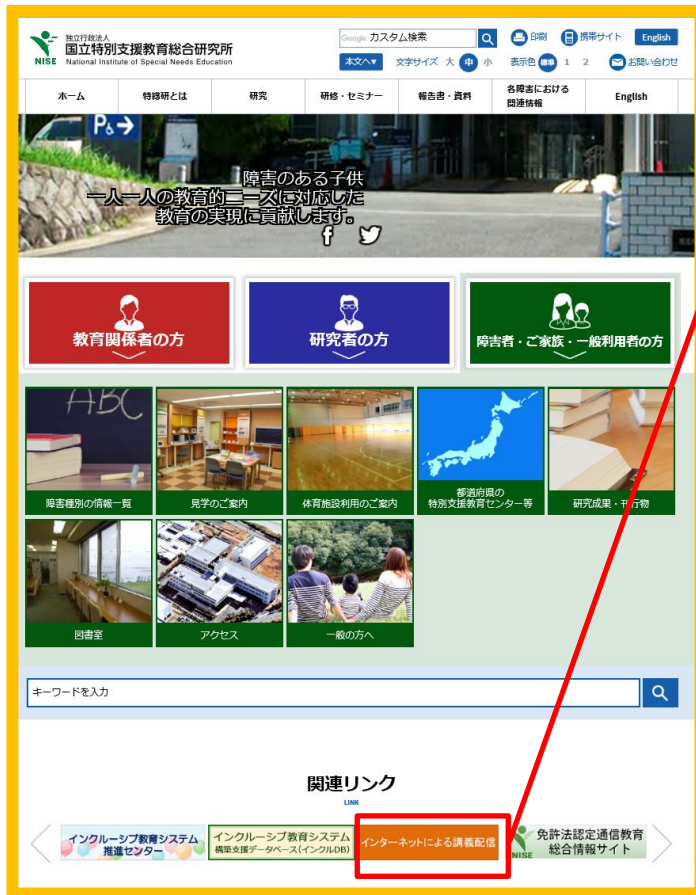
（平成31年4月より順次公開）

- 新学習指導要領における「各教科等における学びの困難さに応じた指導」に関する記述に対応
- 教科等毎に具体的な工夫の例をわかりやすく解説
- 小学校段階から中・高等学校段階への移行も意識

インターネットによる講義配信の登録

無料

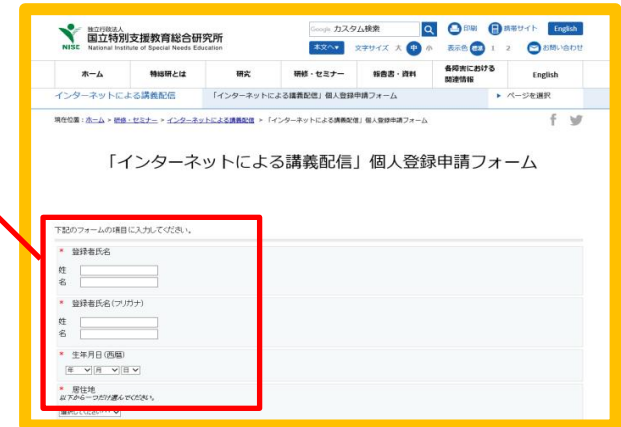
個人登録を行えば100以上ある講義を全て無料で視聴できます。



1. 研究所のホームページ
(<http://www.nise.go.jp/nc/>) から、
「インターネットによる講義配信」
を開きます。

2. 画面をスクロールして、「個人登録申込」の「**こちら**」を開きます。利用規約に同意し、登録申請フォーム画面を開きます。

3. 登録フォームに必要事項を
記載の上、送信ください。



4. 以上で登録手続きは終了です。
登録内容を確認後、研究所より、メールでIDとパスワードを交付します。

②免許法認定通信教育

平成28年10月開講

無料

NISEが実施する免許法認定通信教育

講義・教材配信システム
インターネットを利用した

- ・受講申込の受付
- ・放送講義・教材の配信
- ・受講状況確認

受講者のいる都道府県を中心に、全国の複数会場で単位認定試験を実施



パソコン・スマートフォン・タブレット端末等で講義を視聴
免許法認定通信教育総合情報サイト
<http://forum.nise.go.jp/tsushin/>

視覚障害領域
聴覚障害領域
第2欄の科目

特別支援学校
教諭免許状を
保有していない
特別支援学校
教員等

大学・教育委員会等が実施する免許法認定講習等

その他修得すべき科目

当面の開講スケジュール（予定）

平成30年10月～平成31年2月

視覚障害教育 教育課程及び指導法

聴覚障害教育 教育課程及び指導法

※ 単位認定試験：平成31年2月2日（土）全国複数会場

平成31年5月～9月

視覚障害教育 教育課程及び指導法

聴覚障害教育 教育課程及び指導法

※ 教育施策の動向や教育現場のニーズ等により
変更する可能性があります

申込み方法はホームページをご覧ください。

<http://forum.nise.go.jp/tsushin/>

受講対象者

特別支援学校や特別支援学級に勤務し、特別支援学校教諭免許状を保有していない教員を優先します。

必要な単位を全て修得

特別支援学校教
諭免許状を取得

特別支援学校教員の特別支援学校教諭免許状保有率向上に寄与

免許法認定通信教育事業の経緯

平成27年12月の中央教育審議会

「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について(答申)」

- 平成32年度までの間におおむねすべての特別支援学校の教員が(特別支援学校教諭)免許状を所有することを目指し、国が必要な支援を行うことが適当である
- 小中学校の特別支援学級担任の所持率も現状の二倍程度を目標として、特別支援学校教諭免許状の取得を進めることが期待される

免許状保有率が特に低い視覚障害・聴覚障害の教育領域について、インターネットを利用した免許法認定通信教育事業を平成28年10月より実施

受講対象

- 特別支援教育に携わる教員を主とする、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校の現職教員
- 特に、特別支援学校(視覚障害・聴覚障害)及び、小学校又は中学校の弱視特別支援学級・難聴特別支援学級に勤務し、当該領域の特別支援学校教諭免許状を保有していない教員については、優先的な受講対象

平成30年11月までの単位認定者数は延べ2,166名

開講科目

開講期間		開講科目	
		視覚障害教育領域	聴覚障害教育領域
平成28年度	後期	教育課程及び指導法	
平成29年度	前期	教育課程及び指導法	教育課程及び指導法
	後期	心理、生理及び病理	教育課程及び指導法
平成30年度	前期	心理、生理及び病理	心理、生理及び病理
	後期	教育課程及び指導法	教育課程及び指導法
平成31年度	前期	教育課程及び指導法	教育課程及び指導法
	後期	心理、生理及び病理	心理、生理及び病理
平成32年度	前期	心理、生理及び病理	心理、生理及び病理
	後期	教育課程及び指導法	教育課程及び指導法

視覚・聴覚障害教育領域の第二欄「特別支援教育領域に関する科目」のうち
「心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目」及び
「心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目」

受講申し込みから単位認定まで

～受講期間は15週間～

受講申し込み

- ・15コマの映像講義を自宅や職場で視聴
- ・事前、事後学習についてシラバスに記載
- ・各映像講義の最後に理解度チェックリスト
- ・よく勉強してもわからない場合はメールで担当講師へ質問

単位認定試験

受講科目の一単位を認定

※単位認定試験については、各自の職場のある都道府県、または東京・大阪・福岡・宮城等の試験会場でマークシート式の試験を実施

研修事業部
資質向上支援に関する事業について
終わり

教育に関わる皆様の資質向上に
どうぞご活用ください!!